

お取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 133号

2015/3/16 発行  
株式会社 立花商店  
坂元 麻美

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

### 1、市況の動き:ロンドン=週前半は続落、後半は反発。NYは週を通して続落

- ① 最高5月 LDN 市場£2,018 /5月 NY 市場\$2,934 (3/9) 先週比 LDN -24 / NY -88  
② 最低:5月 LDN 市場£1,980 /5月 NY 市場\$2,818 (3/11,3/13) 先週比 LDN -33 / NY -127  
週内価格差額 (①-②): LDN 市場£38 (傾向↑) / NY 市場\$116 (傾向↑)  
週内建玉推移: LDN 市場 252,008 枚(3/6 終了時)⇒251,735 枚 (3/12 終了時) **-273 枚**  
NY 市場 216,497 枚(3/6 終了時) ⇒210,307 枚 (3/12 終了時) **-6,190 枚**

	2015/3/9(月)		2015/3/10(火)		2015/3/11(水)		2015/3/12(木)		2015/3/13(金)	
	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY
5-May	<b>2018</b>	<b>2934</b>	2005	2913	<b>1980</b>	2855	1989	2838	1994	<b>2818</b>
5-Jul	2003	2919	1992	2898	1971	2844	1979	2830	1985	2810
5-Sep	1982	2903	1974	2883	1957	2831	1964	2818	1971	2798

### 2、ナイジェリア:カカオ豆の供給不足によりカカオ豆価格上昇=オヨ州(3/12)

カカオ取扱業者やトレーダーによると、ナイジェリア南西部のオヨ州でカカオ豆が不足していることを受け、ナイジェリア産のカカオ豆は高値で取引されているという。

ナイジェリア農業組合の関係者は、輸出基準を満たしているカカオ豆は2週間前の490,000~510,000 ナイラ (\$2,450~\$2,550) から500,000~520,000 ナイラ (\$2,500~\$2,600) へと上昇したことを述べている。

彼は「カカオ豆の供給不足によって、カカオ豆価格が上昇してきているのを目の当たりにしている。価格は来月にミッドクロップの収穫が始まるまでこの水準を保つか、もしくはもっと上昇する可能性もあると思う。」述べた。

また「ナイジェリア南西部では国内生産量の約 70%を占めており、この地域では乾燥気候が長引いていることでミッドクロップのカカオ豆の生育を妨げるので、慢性的に収量不足が起こっている。とはいえカカオ豆の生産量や売り上げを伸ばすためには、ナイジェリアの主要産地となっている南西部でミッドクロップを収穫していくしかない。」と加えた。

オヨ州の州都 Ibadan のトレーダーは「もし今月、1~2回の連続した降雨が観測されれば、4月上旬からミッドクロップの収穫が始まるだろう。」と述べている。

オヨ州はオグン州、オスン州、オンド州、エキティ州とならびナイジェリア南西部の主要 5 都市の 1 つである。「Graded cocoa」とはナイジェリア政府によって輸出適合と認証を受けたカカオ豆である。

### **3、コロンビア：2015年カカオ豆輸出量は1200トンになる見込み(3/12)**

コロンビアのカカオ連合である Fedecacao は、同国の高品質カカオ豆を売りとして海外への販売力強化戦略を進めてきたことを受けて、2015年には1200トンものカカオ豆を海外に輸出する見込みであると述べた。

少なくとも1000トンは輸出されるとの見込みがある。2015年の初めの2か月で欧州への輸出は100トンとなった。そのうちドイツが最大の輸出相手国となっており、2014年の1年間で300トンしか輸出されていないことを考慮すると、2015年は輸出量の拡大が期待できるだろう。

コロンビア政府が農地を再生させるために200億コロンビアペソ(761万USD)もの支援を行い、今年のカカオ豆収穫量は5万4000トンへと達する見込みである。

2月終わり時点で、コロンビア産カカオ豆の国内価格と対外販売価格はともに安定している。

Fedecacao は今年、新たな集荷業者を El Carmen de Chucuri に設立し、このような機関を5つまで増やす計画である。こうした集荷業者は公正な取引価格で農家から直接カカオ豆を買い付ける役目を果たす。

### **4、ウクライナ：カカオ製品を1260万USD輸入し、220万USDを輸出(3/6)**

2月、ウクライナは1258万6000USD分のカカオ豆やカカオ製品を輸入し、219万4000USD分のカカオ製品を輸出した。そのうち主要な輸入相手国はコートジであり732万8000USD相当のカカオ豆・カカオ製品を購入した。1月~2月でみると2010万USD分を輸入し、517万7000USD分を輸出した。

### **5、ガーナの生産量減少が世界のカカオ豆市場に影響を与える(3/9)**

オーラムの役員によると、多くの市場関係者はガーナの天候があまり良くないことから、世界的にカカオ豆が不足すると予測しているという。

また、オーラムの国際カカオ部門の Manley 氏は「今シーズン、国際カカオ市場においてカカオ豆が不足すると予測している。その原因の多くは、ガーナでの生産量の減少が挙げられるだろう。」と述べている。

彼は「ガーナではカカオ産業が他の産業をけん引してきたが、もはやそこまでの力はなく、今では供給過剰から供給不足へと転換してしまうこともある。」と述べた。

シンガポールに拠点を置くオーラムは、世界最大のカカオ豆生産国であるコートジとガーナでの収穫量減少により、今シーズンは12万トンものカカオ豆が不足すると見込んでいる。

依然として多くの市場参加者は、カカオ市場は需給関係のバランスが保たれているか、もしくは2013/14年にコートジが記録した174万トンに引き続き、わずかに余剰がうまれるとみている。

しかし西アフリカは12月～1月にかけて、異常なレベルでハルマッタン風が発生し、多くの国で生産量の減少が懸念されている。国際カカオ協会(ICCO)は、2013/14期では3万トンのカカオ豆が供給過剰とされ、今シーズンは1万7000トンの供給不足を予測している。

ガーナのカカオ豆監督機関(Cocobod)から公表された統計によると、ガーナ政府によるカカオ豆買い付けのペースはにぶい。

Manley氏によるとカカオに対する需要は今年、12万トン上昇するとされる。

オーラムはコートジに年間7万5000トン規模の新しい工場を竣工したが、Manley氏によると、コートジの今年のカカオ豆収穫量は、昨年の記録的な収穫量には追い付かないという。

カカオ豆の摩砕可能量が伸びる中で、オランダは世界最大のカカオ豆加工国として役割を担っている。しかしオランダ政府が2シーズン前に、いくつかある税金の優遇制度を廃止して以来、政府とカカオ産業界は犬猿の仲となってしまった。

オーラムは12月にArcher Daniels Midlandのカカオ部門を13億USDで買収した。もしこの買収が完全にうまくいくと、オーラムはカカオ部門で、バリーカレボーとカーギルに次ぐ世界第3位の地位を得る。

## **6、カメルーン：カカオ豆価格上昇(3/9)**

カメルーンではメインクロップが終わりに近づくにつれて、中央部で収穫されるカカオ豆の取引価格が7年ぶりの高値に達した。kgあたりのカカオ豆価格は3週間前の\$2.15~2.23から、\$2.15~\$2.4へと上昇した。

カメルーンの中央部はカカオ豆の主要生産地となっており、西アフリカの年間生産量の約40%を占めている。この地域のカカオの木は年間で2度実を結ぶが、収穫期が終わりに近づくにつれて取引価格が急上昇する。

ロンドンのカカオ豆先物価格は4年ぶりの高値を更新した。月曜日には3月きりの価格が2018ポンドで取引を終えた。

カメルーンのカカオ豆生産量は、2013/14期の22万8911トンから20万9905トンへと下落した。そのうち海外への輸出量は15万8311トンとなり、昨年20万1563トンから下落となった。

### **7、コートジ：昨年10月以来、カカオ豆の着荷量121万8000トンに達する(3/9)**

昨年の10月1日以来、3月8日までにコートジの港に着荷したカカオ豆は121万8000トンに達した。昨年の同時期の116万8000トンからの上昇となった。

3月2日～8日までの1週間でアビジャン港とサンペドロ港へ着荷したカカオ豆は1万4000トンであった。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545    w-ikuta@tachibana-grp.co.jp